

冒険者たち

2022年6月 第104号
編集：山本泰暉

人に社会に何を残すか

Support your company ~ 未来への糧 ~



青山健一 (KENICHI・A)

横浜市出身。大学卒業後、重工業メーカーの経理部門で経験を積む。その後、中古車販売会社の事業再編の指揮を執り、2010年に独立。豊富なスキルを活かした経理業務のアウトソーシングにより、中小企業の事業サポートを手がける。



江戸っ子だった父親

SHARED CONSULTING / 青山健一

どんな仕事にせよ、どんな心でそれをするかによってその価値は決まると思う。人生において、他ならぬ自分が果たすべき役割があるという自覚が、事業に生きた内容を与え、未来を導く力となる。

簡単ではないかもしれない。しかしそれは、できない理由にはならない。

横浜市戸塚区出身。父母と妹の四人家族の中で育った。「父は重工業メーカーで、発電所や地下タンクの設計をしていました。」

子供の頃は母親に似ていたと言われるが、生き方は父親の影響を色濃く受けている。「小学生のとき、僕は算数が苦手だったんです。」

音楽の授業で使うリコーダーやハーモニカ、そして水泳も苦手だった。「ある日、プールの授業が嫌で学校を休ましたんです。」

家に帰ると、普通なら仕事に出ているはずの父親がいた。「怒られました。」

「嫌いな嫌いで、堂々としていって、怒られたのは授業をさぼったことではない。」

「父は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

「料理や裁縫が得意で、僕も子どもの頃にはセーターを作ってもらいました。」

妹の結婚式にも、着物を仕立てるほどの腕前だった。

父親に宿題を燃やされ、学校に呼び出されるのは母親だった。「母は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

「料理や裁縫が得意で、僕も子どもの頃にはセーターを作ってもらいました。」

妹の結婚式にも、着物を仕立てるほどの腕前だった。

学習塾なんか行くな

父親に宿題を燃やされ、学校に呼び出されるのは母親だった。「母は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

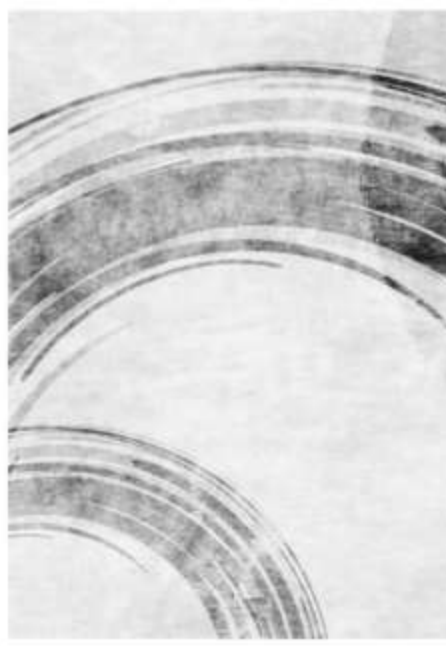
「料理や裁縫が得意で、僕も子どもの頃にはセーターを作ってもらいました。」

妹の結婚式にも、着物を仕立てるほどの腕前だった。

父親に宿題を燃やされ、学校に呼び出されるのは母親だった。「母は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

「料理や裁縫が得意で、僕も子どもの頃にはセーターを作ってもらいました。」

妹の結婚式にも、着物を仕立てるほどの腕前だった。



「父は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

「料理や裁縫が得意で、僕も子どもの頃にはセーターを作ってもらいました。」

妹の結婚式にも、着物を仕立てるほどの腕前だった。

父親に宿題を燃やされ、学校に呼び出されるのは母親だった。「母は父と反対に、怒らなくてやさしい人でした。」

地元の進学校へ進学 大学受験の第一志望は叶わず

神奈川県のある進学校で、そこへ行っていい。そう担任の教師に言われて選んだのは、県立桜ヶ丘高校だった。

「進学校で、家から近くにあったので便利でした。」

音楽の授業がなくなったことが何よりの喜びだった。政治と経済に興味を持ち始めたのもこの頃だと思ふ。

「正確に言うと、好きだったのは経済史です。」

過去から現在へ流れる時系列の中で、事実の因果関係をたどっていく。

「物事は、みんな原因があつて起こっていくのです。」

当たり前のことの中に、静かな本質がある。それを見つめるのが好きだった。

学ぶことの楽しさに、気付きはまった私だった。

大学で何を学ぶか 父に諭された生き方の哲学

早稲田に行きたい、そう伝えて返ってきた父親の答えは「駄目だ」だった。

「この大学に行くかじゃなく、大学で、何を学ぶかだ。」

父は言うのです。「早稲田の経営学部の教授をとる北村先生という人がいたからでした。」

与えられた環境がお前の運命なのだから、与えられた環境でやりなさい。

その言葉の意味を、私はここで初めて知ったのだ。

「毎日1限目から6限目までしっかり授業に通いました。」

三年生の時にはほとんど単位を取り終わっていたが、四年になってからも授業に行った。

中には、自分の興味のない科目もありました。

大学はそういう所だと、父親の言葉がいつのまにか、自分の考え方として身につけていることに気付く。

今しかできない勉強。そこに意味があるのだ。

三年次になると、教員免許コースとソーシャルワーカーコースに分かれた。

僕は後者を選んで、社会福祉の勉強のために夏休みは病院へ実習に行きました。

体育会の射撃部にも入っていたから、毎日が忙しい。

「寝るのもつたいたいと思っ

ていました。」

寝てる間に世の中で色々なことが起きている。疲れていても、起きて活動して一日を終わりたいと思つた。

大学一年の夏休みに、マンシヨンの清掃のバイトを始める。

「エントランスや駐車場など、共用部分を掃除します。」

三時間かけて清掃するマニュアルを教わったが、効率の悪いやり方だとわかった。

「自分なりの方法でやると、同じ内容が一時間で終わつたんです。」

せっかくなので外の道路を掃除していると、住人からジュースやおやつを買ってもらうようになった。

「楽をしたいわけじゃなくて、無駄が嫌いだったんです。」

家庭教師のバイトで私は、教えることの難しさを学ぶ。

「親の希望があつたとしても、生徒本人の意思がなければ物事は成就しません。」

やりたくないならやらなければいい。幼い頃に聞いた父の言葉は、決して投げやりではなかったと改めて思ふ。

「本屋でのバイトも、学びの多い経験でした。」

いらつしやいませ。ありがとうございます。声を出す仕事は、社会に出て役立つだろう。

時給のためではなく、業をするためでもない。

ならば働くとは何のため？

何を志して、生きていく。

その答えを、見出そうとしていく青年だった。(続く)

学生

三年次になると、教員免許コースとソーシャルワーカーコースに分かれた。

僕は後者を選んで、社会福祉の勉強のために夏休みは病院へ実習に行きました。

体育会の射撃部にも入っていたから、毎日が忙しい。

「寝るのもつたいたいと思っ

ていました。」

寝てる間に世の中で色々なことが起きている。疲れていても、起きて活動して一日を終わりたいと思つた。

大学一年の夏休みに、マンシヨンの清掃のバイトを始める。

「エントランスや駐車場など、共用部分を掃除します。」

三時間かけて清掃するマニュアルを教わったが、効率の悪いやり方だとわかった。

「自分なりの方法でやると、同じ内容が一時間で終わつたんです。」

せっかくなので外の道路を掃除していると、住人からジュースやおやつを買ってもらうようになった。

「楽をしたいわけじゃなくて、無駄が嫌いだったんです。」

家庭教師のバイトで私は、教えることの難しさを学ぶ。

「親の希望があつたとしても、生徒本人の意思がなければ物事は成就しません。」

やりたくないならやらなければいい。幼い頃に聞いた父の言葉は、決して投げやりではなかったと改めて思ふ。

「本屋でのバイトも、学びの多い経験でした。」

いらつしやいませ。ありがとうございます。声を出す仕事は、社会に出て役立つだろう。

時給のためではなく、業をするためでもない。

ならば働くとは何のため？

何を志して、生きていく。

その答えを、見出そうとしていく青年だった。(続く)

学生

三年次になると、教員免許コースとソーシャルワーカーコースに分かれた。

僕は後者を選んで、社会福祉の勉強のために夏休みは病院へ実習に行きました。

体育会の射撃部にも入っていたから、毎日が忙しい。

「寝るのもつたいたいと思っ

ていました。」

寝てる間に世の中で色々なことが起きている。疲れていても、起きて活動して一日を終わりたいと思つた。

大学一年の夏休みに、マンシヨンの清掃のバイトを始める。

「エントランスや駐車場など、共用部分を掃除します。」

三時間かけて清掃するマニュアルを教わったが、効率の悪いやり方だとわかった。

「自分なりの方法でやると、同じ内容が一時間で終わつたんです。」

せっかくなので外の道路を掃除していると、住人からジュースやおやつを買ってもらうようになった。

「楽をしたいわけじゃなくて、無駄が嫌いだったんです。」

家庭教師のバイトで私は、教えることの難しさを学ぶ。

「親の希望があつたとしても、生徒本人の意思がなければ物事は成就しません。」

やりたくないならやらなければいい。幼い頃に聞いた父の言葉は、決して投げやりではなかったと改めて思ふ。

「本屋でのバイトも、学びの多い経験でした。」

いらつしやいませ。ありがとうございます。声を出す仕事は、社会に出て役立つだろう。

時給のためではなく、業をするためでもない。

ならば働くとは何のため？

何を志して、生きていく。

その答えを、見出そうとしていく青年だった。(続く)

学生

三年次になると、教員免許コースとソーシャルワーカーコースに分かれた。

僕は後者を選んで、社会福祉の勉強のために夏休みは病院へ実習に行きました。

体育会の射撃部にも入っていたから、毎日が忙しい。

「寝るのもつたいたいと思っ

ていました。」

寝てる間に世の中で色々なことが起きている。疲れていても、起きて活動して一日を終わりたいと思つた。

大学一年の夏休みに、マンシヨンの清掃のバイトを始める。

「エントランスや駐車場など、共用部分を掃除します。」